

◆ 中面記載の通常講座に加えて、講座受講生を対象とした「特別集中講座」も予定しています ◆  
 「東日本大震災から11年を経て、被災地はどう変わったか？—新たな可能性を求めて」 山崎 憲治 元岩手大学教授

【講義回数・時間】 2回・4時10分から5時まで  
 【受講料】 2回で1,000円  
 ※日程ほか詳細は、令和4年度講座開講後、別途ご案内します。

## 受講手続きの流れ

1 FAX\*<sup>1</sup>、封筒郵送\*<sup>1</sup>、はがき、メール、Webで、次の内容をお知らせください。  
 ※1 別紙の受講申込書をご利用ください。

- ①「前期」希望講座 ○○○○○
- ②「後期」希望講座 ○○○○○
- ③氏名(ふりがな)、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥FAX番号
- ⑦メールアドレス(休講などのお知らせに使用します)
  - ・FAX送信先:03-3715-3099
  - ・郵送先:〒153-8573 目黒区役所生涯学習課内<住所不要>
  - ・メール送信先:kyoiku61@city.meguro.tokyo.jp
  - ・めぐろシティカレッジホームページ(右コード)から申し込み可

めぐろシティカレッジ wix 検索



- 2 3月上旬に、受講の確定と受講料の振込案内をお送りします。(後期は7月上旬予定)
- 3 3月15日までに、お振込みをお願いします。(後期は7月中旬予定)
- 4 4月上旬に、受講証を発送します。(後期は8月上旬予定)  
 講座当日は受講証をご持参の上、会場へお越しください。

※原則として入金後の講座の変更・キャンセルはできません。  
 やむを得ない事情が生じた場合は、1回目講義の前までに事務局にご相談ください。

## 受講に際して

- 1 やむを得ない事情により、日程や講師等を変更したり、講義の短縮や中止の場合もあります。予めご承知おきください。
- 2 現地実習については、荒天等により実施できなかった場合、天候や講師の都合により平日に実施する場合もあります。日程変更により欠席された場合でも返金できません。予めご承知おきください。
- 3 講師や他の受講生に迷惑をかけたり、講座運営に支障をきたす行為があった場合、受講をお断りすることがあります。
- 4 受講を修了した方が研究会を作る場合には、事務局へご相談ください。
- 5 主な会場は目黒区中央町社会教育館(中央町さくらプラザ)ですが、講義によっては現地実習があります。現地実習の集合時間や時間等は別途ご案内します。

## Q&A

- Q1 「前期」と「後期」、それぞれ異なる講座を申し込んでも良いですか？  
 A1 異なる講座でも、同じ講座でも、どちらでも良いです。
- Q2 「前期」の講座を2つ申し込むことはできますか？  
 A2 できます。日程が重なっていない講座と組み合わせでお申し込みください。
- Q3 抽選で落選した場合はどうなりますか？  
 A3 応募状況により、定員に余裕のある他の講座等をご案内させていただきます。



## お問い合わせ

めぐろシティカレッジ振興会事務局  
 TEL 03-5722-9316  
 (月～金曜日 10:00～17:00)  
 目黒区上目黒 2-19-15  
 目黒区教育委員会事務局 生涯学習課内

MEGURO  
 シティカレッジ

第28回(令和4年度)受講生募集

# めぐろシティカレッジ 受講案内・募集要項

応募締切:令和4年3月1日(火)※消印有効

## ●「めぐろシティカレッジ」の紹介

平成7年10月開講

めぐろシティカレッジは、東京都立大学が八王子市に移転するに際し、「お世話になった目黒区に何かお役に立つことがあれば協力したい」という、東京都立大学の総長山住正己先生(当時)をはじめ、大学関係者および、東京都立大学附属高等学校の皆様の熱い思いを受け、目黒区、東京都立大学、同大附属高等学校、東京都教育庁の4者が協力して、目黒区民の生涯学習に貢献し、生活・文化に寄与することを目的として開始した生涯学習講座です。

現在、任意団体「めぐろシティカレッジ振興会」が運営を行っております。  
 令和4年度の会場につきましては、令和3年度に引き続き目黒区中央町社会教育館(中央町さくらプラザ 目黒区中央町2-4-18)で実施します。

## ●学習の目標

「めぐろシティカレッジ」では、設立の趣旨に基づき、次の3点を学習の目標に掲げています。

- 1 わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」で誰からも強いられることなく、自らの意思と方法で勉強して自己実現をはかります。
- 2 わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」で蓄積された知的資産を「明るい豊かな人間のまちづくり」に自己責任で参加して、生かします。
- 3 わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」での学習や研究、「まちづくり」を通じて育まれた温かい人間関係をより豊かにするとともに、新しい価値観と生きがいを求め、新世紀に向かって行動します。

## 新型コロナウイルス感染症に関わるご理解のお願い

- ☑ 発熱又は風邪のような症状がある方、ご家族の方が濃厚接触者になったりPCR検査を受けることになった場合など、少しでも感染の恐れがある場合は、講座への出席をお控えください。
- ☑ 入室前の手指消毒、受講中のマスク着用、咳エチケットなどにご協力をお願いします。
- ☑ 状況により、掲載されている講座や講座会場などが変更される場合があります。
- ☑ 休講などのお知らせに使うため、メールアドレスをお知らせください。

## 講座案内

「前期」と「後期」の2期制となります。

各講座とも全7回 / 1講座につき受講料:10,000円 / 定員:40名

※現地実習の際は、別途入館料など実費が必要な場合があります。

【受講料】 「前期」10,000円、「後期」10,000円  
 【定員】 40名(応募が定員を超えた場合は抽選)  
 【応募締切】 令和4年3月1日(火)※消印有効

※定員を超えた場合、区内在住・在勤・在学者優先となります。

※受講希望者が所定の人数に満たない場合は開講を中止することがあります。

# 前期 令和4年4月～7月（講義時間午後2時～4時）

<b>1.</b>	<b>目黒学パート28 「食とめぐろ」その①</b> コーディネーター：山崎 憲治
4/9	オリエンテーション、何をどこまで学習するか 日本と世界の食糧事情、日本の自給率37%の実態、世界の飢饉、サヘル早魃と食糧危機、アマルティア・センの主張 山崎 憲治 元岩手大学教授
4/23	「エコ・クッキング」と地球環境 エコ・クッキング 東京ガス(株) ※「エコ・クッキング」は東京ガス(株)の登録商標です
5/21	廃棄物の行きつく先 <b>現地実習</b> 山崎 憲治 元岩手大学教授
6/11	江戸時代における「甘藷」―青木昆陽を巡って― 大西 真央 日本大学職員
6/25	東京を養う食糧問題―食糧確保と「農」空間の保全― 菊地 俊夫 東京都立大学教授
7/9	冷害の歴史、1930年代東北、1960年代東北僻地の食を「スズラン給食」にみる 山崎 憲治 元岩手大学教授
7/23	目黒の学校給食の歴史 松原 敦見 目黒区学校栄養士 長山 慎子 目黒区学校栄養士

<b>2.</b>	<b>地球を知る その①</b> コーディネーター：堀 信行
4/9	地球観の変遷史から地球の「いま」を考える 堀 信行 東京都立大学名誉教授
4/23	地球とともに生きる：農林漁業の現在と未来 関根 佳恵 愛知学院大学准教授
5/21	地球の呼吸は大地の呼吸：土砂災害が警告する大地の呼吸不全 矢野 智徳 (合)杜の学校 代表・大地の再生技術研究所 主宰
6/11	砂漠と砂漠化：環境変遷史から見えてくる自然と不自然 堀 信行 東京都立大学名誉教授
6/25	「異常気象」再考 高橋 日出男 東京都立大学教授
7/9	川は何をしているのか：侵食・堆積・水循環 小松 陽介 立正大学教授
7/23	風化と土壌：土壌あつての大地、大地あつての「いのち」 堀 信行 東京都立大学名誉教授

<b>3.</b>	<b>日本の古層にある精神世界を探る その①</b> コーディネーター：森 慎一郎
4/16	冥界～幽霊・妖怪～ 清水 克行 明治大学商学部教授
5/14	東北の民族誌～イタコ・恐山・オシラサマ～ 大道 晴香 國學院大學神道文化学部助教
5/28	出雲～出雲大社とは何か～ 長谷川 豊輝 東京電機大学システムデザイン工学部 非常勤講師
6/4	諏訪の御柱祭 宮坂 清 八剣神社宮司
6/18	歌～万葉集から古代人の思いを探る～ 茂野 智大 武蔵野大学文学部専任講師
7/2	式年遷宮～現代に繋がる古代建築の意味～ 岩田 厚 岩田厚建築設計事務所代表／建築家
7/16	口承と文学～歌われていた古い日本の言葉～ 草山 洋平 流通経済大学教育学習支援センター 専任所員(講師)

<b>4.</b>	<b>見て回る 江戸・東京 その①</b> コーディネーター：佐藤 洋、生井 貞行
4/16	悪所―江戸の遊び― 森 慎一郎 東洋文化研究者
5/14	悪所―江戸の遊び― かつての遊郭と芝居街を巡る <b>現地実習</b> 森 慎一郎 東洋文化研究者
5/28	まるごと理解「江戸時代」 大石 学 東京学芸大学名誉教授／時代考証学会 会長
6/4	東京湾の開発の歴史 利権の巢窟としての東京湾開発 山崎 憲治 元岩手大学教授
6/18	東京湾の開発の歴史 江戸川区南端 <b>現地実習</b> 山崎 憲治 元岩手大学教授
7/2	八百屋お七由来の地を訪ねて 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
7/16	八百屋お七由来の地を訪ねて 文京区白山地区を巡る <b>現地実習</b> 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭

# 後期 令和4年9月～令和5年1月（講義時間午後2時～4時）

<b>5.</b>	<b>目黒学パート28 「食とめぐろ」その②</b> コーディネーター：山崎 憲治
9/24	江戸湾が果した食糧生産 柘植 信行 品川歴史館専門委員
10/8	天ぷら歴史、天ぷらという料理の特性、食し方、素材(ネタや油に関して)のレクチャーのあと、会食。※[会場:綱八「つのはず庵」/会費別途4000円] <b>講義と会食</b> 志村 良輔 株式会社 綱八専務取締役
10/22	子ども食堂の姿と課題 森谷 哲 NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ
11/12	中目黒の新しい店の立地と工夫 <b>現地実習</b> 山崎 憲治 元岩手大学教授
11/26	都市の現実、貧困と格差の社会地理 石井 光太 小説家
12/10	農と食の持続可能性を考える 関根 佳恵 愛知学院大学准教授
1/28	食の豊かさを求めて、地産地消 宮地 忠幸 日本大学経済学部准教授

<b>6.</b>	<b>地球を知る その②</b> コーディネーター：堀 信行
9/24	湖底堆積物から古環境を読む 山田 和芳 早稲田大学教授
10/8	自然観の誕生とその変貌 堀 信行 東京都立大学名誉教授
10/22	私たちは地球温暖化を止められるか？ 中野 智子 中央大学教授
11/12	氷河期に熱帯はあったか？：サンゴ礁と熱帯雨林が物語る環境変遷史 堀 信行 東京都立大学名誉教授
11/26	地球環境に与える南極大陸の存在意義 三浦 英樹 国立極地研究所准教授
12/10	変動する日本列島を捉える：隆起・沈降・活断層・活火山 前杵 英明 法政大学教授
1/28	「人新世」とは何か？：新たな地質年代の模索と子孫への苦渋のメッセージ 堀 信行 東京都立大学名誉教授

<b>7.</b>	<b>日本の古層にある精神世界を探る その②</b> コーディネーター：森 慎一郎
10/1	怨霊と道祖神～集落を守る神々～ 高木 信 相模女子大学学芸学部教授
10/15	日本神話～古事記・日本書紀・風土記～ 鈴木 雅裕 日本大学助教
10/29	渡来人の伝承～遍歴する渡来の神と渡来系氏族～ 田中 史生 早稲田大学文学学術院教授
11/5	アイヌの民族誌～ユーカラ～ 阪口 諒 千葉大学人文公共学府博士後期課程
11/19	沖縄の信仰～ニライカナイ・ノロ・御嶽～ 草山 洋平 流通経済大学教育学習支援センター 専任所員(講師)
12/3	神仏習合と修験道～日本的宗教の誕生～ 近藤 祐介 鶴見大学文学部准教授
1/21	古墳～巨大墳墓に託した古代人の願い～ 広瀬 和雄 総合研究大学院大学名誉教授

<b>8.</b>	<b>見て回る 江戸・東京 その②</b> コーディネーター：佐藤 洋、生井 貞行
10/1	江戸の始まり 東京湾岸の変貌 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
10/15	江戸の始まり 東京湾岸の変貌―月島駅から門前仲町駅へ― <b>現地実習</b> 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
10/29	大江戸はいかにして造られたのか 大石 学 東京学芸大学名誉教授／時代考証学会 会長
11/5	江戸の鬼門今昔 上野公園の風景の変遷を巡る 堀 信行 東京都立大学名誉教授
11/19	江戸の鬼門今昔 上野公園に見る日本の近現代史 <b>現地実習</b> 堀 信行 東京都立大学名誉教授
12/3	大衆文化―寅さんの伝言― 寅さんのキャラクターはいかに生まれたのか 小泉 信一 朝日新聞編集委員
1/21	柴又から矢切の渡しで野菊の墓文学碑へ <b>現地実習</b> 生井 貞行 元桜美林大学講師